



日本キリスト教保育所同盟 (題字 前理事長・木村 量好)

THE ASSOCIATION OF CHRISTIAN NURSERIES IN JAPAN

事務局 かがわ子ども・子育て支援センター 神愛館 〒762-0056 香川県坂出市中央町8番58号
発行責任者 理事長 新井 純

「青い空と海はウチナンチュのものだ」

社会福祉法人イエス団 一麦保育園 平 良 嘉 男

【日常化している沖縄の基地被害】

ある日の夕刻、携帯が鳴った。元同僚からである。「普天間飛行場の近くにある職場から仕事を終え帰宅する途中だが、突然地震のような揺れを感じたので車を路側帯に止めて様子を伺っていた。直後に今度は地の底から湧き上がってくるような重低音が響いてきた。地震のような揺れと車体全体を震わすような重低音に吐き気とともに恐怖を覚え思わず車外に出た。その時、低空飛行で普天間基地に着陸するオスプレイが目に入った。このような異常な程の騒音と恐怖を与えるオスプレイ、何とかありませんか」とのことだった。私が沖縄の反基地活動に取り組んでいることを知っている元同僚はその恐怖と怒りを誰かに伝えたくて電話をしたのだろう。2012年10月1日、オスプレイが普天間基地に強行配備された直後のことだった。嘉手納基地においても周辺住民は、騒々しい工場の中と同等の騒音(93.2デシベル)に24時間、悩まされている。

【日・米に翻弄される沖縄】

元米国防長官ラムズフェルドが普天間基地を視察した際、市街地にある基地を見て驚愕し「世界で一番危険な基地だ」と発したことはよく知られているところだが、米国の著名なシンクタンクのケイトー研究所は「普天間基地は、ニューヨークのセントラルパークに巨大な空港があるようなもので、米国では考えられない。」と評している。

国土0.6%の小さな島に在日基地の70.6%が置かれているという沖縄の現状は異常なのだ。私が遭遇した58年前の宮森小学校へ米軍の戦闘機が墜落した事故は起こるべくして起こったのである。その後も沖縄大への米軍ヘリ墜落事故、名護沖へのオスプレイの不時着等々、後を絶たない。県によると復帰後から今日にいたる間に起こった米軍の飛行機事故は何と年平均で6回以上起こっている。基地と米兵による凶悪犯罪等の被害は甚大だ。その沖縄に日本政府は新たに地元住民や県民の反対を押し切って沖縄北部にある高江村を囲むようにヘリパッドを建設し運用している。さらに辺野古に普天間基地の代替基地を建設しようとしている。狂気の沙汰である。彼らに人心はないのだろうか。憤り呆れ果てるのはウチナンチュだけなのか。

県民が理不尽な基地負担を止めてくれと何度叫んでも耳をかさない政府の姿勢、それは1609年、当時の幕府の後押しを受けた薩摩藩が琉球を侵略して以来400年余続く侵略者と侵略された者の構図である。1879年に

は強制的に日本の一県とされた琉球処分、先の大戦では本土の防波堤としての沖縄戦で4人に1人が犠牲となった。さらに、終戦後は先祖から受け継いできた土地を米軍の銃剣とブルドーザーで奪われ広大な基地が造られた。我が故郷は不沈空母の島と称されている。この広大な基地は県内経済の発展を大きく妨げる原因でもある。

敗戦後、日本政府は独立の際、沖縄を米国の信託統治とする「サンフランシスコ平和条約」と自らの安全保障を担保とする「日米安全保障条約」を結ぶ。そして日本は経済大国として復興する。1972年、米国の信託統治下(植民地)となった沖縄は人権蹂躪が絶え間ないことから脱却するため、自らを侵略し、支配し、利用してきた日本へ復帰するという選択をする。日本政府にとっては格好の具である沖縄が返還されたのだ。

【自己決定権を求める沖縄】

辛酸な歴史をなめてきた琉球・沖縄人は命と平和の尊さ、そして人間として差別されることの痛みを身に染みて理解できる。琉球・沖縄民族と同じように、否、それ以上の苦難を受けた民族は他にもいる。しかし、強者が弱者を力づくで支配し蹂躪するという非人道的な構図は常に破綻してきたことを歴史は物語っている。

2013年1月、県知事と県議会議長を筆頭に全議員、さらには全市町村長が上京し、オスプレイ強行配備に反対する県民の声を建白書に託し政府に提出したが一顧だにされなかった。それどころか、そのことをアピールするために一行が銀座でデモをした際、沿道から「売国奴、日本から出て行け」というヘイトスピーチを浴びせられる目に会う。

今、沖縄の政界でイデオロギーからアイデンティティを掲げて保守と革新がオール沖縄となり、これまでの国の沖縄政策に抗い沖縄の自己決定権を求める動きが起こっている。

【民族の叫びは届いている】

神は義なる方である。心折れてはならない、これまでの琉球・沖縄人の虐げられた民族の悲痛な叫びは天には届いている。沖縄に戻り辺野古に行くとかバルトブルーの海を破壊する新基地建設のための工事用のフロート(浮標)や球状のブイが浮かんでいる。自宅に戻ると真っ青な空を引き裂くかのように重低音を撒き散らしながらオスプレイが頭上を飛んでいる。沖縄の青い海と空は私達ウチナンチュのものだと憤りを禁じ得ない。

「第59回日本キリスト教保育所同盟

夏季保育大学を終えて」

日本キリスト教保育所同盟

九州地区理事 末 瀬 喜美子

主の御名を賛美いたします。



講師 高田 明 氏

第59回日本キリスト教保育所同盟夏季保育大学が皆様のお祈りとお支えにより無事終了いたしましたことを心より感謝申し上げます。何より参加された皆様がけが・病気・事故なく園にお帰りになることが出来ました。感謝です！終わるや佐世保は未明から[・][・][・]大雨と雷、びっくりです！きっと夏季大が終わるのを待っていたのでしょ。兎にも角にも守られた三日間であったことを実感致しました。長崎開催決定から約1年半九州地区会

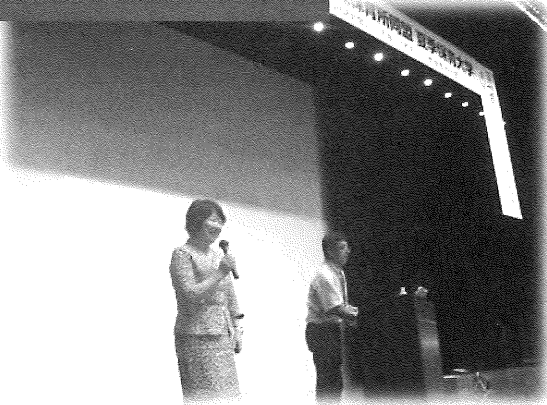
員の手作りでおもてなしをしようとい何から何まで手作り致しました。

しかしながらなかなか難しいところもありました。会場とホテルが別、ホテルも5か所。研修会場までの移動等、皆様には大変ご不便、ご迷惑をお掛け致しました。この場をお借りしましてお詫び申し上げます。今となりましたは全て良い思い出となりました。



講師 姜 尚 中 氏

講師 田尻 由美子 氏



早速アンケートの集計を致しました。お礼、感謝のお言葉等多くあり感謝でした。又、アクセスの事など・・・ご指摘も頂きました。大変参考になりました。この会の先輩の皆様、仲間の皆様に九州地区一同から心からの感謝を申し上げます。日本キリスト教保育所同

盟夏季保育大学がますます神様と人に仕え祝される会となりますようお祈りいたします。

2018年度は沖縄です。祈りをもって全会員でお支え致しましょう！

ありがとうございました。



第59回 夏季保育大学 参加者全員

キーワード： いのち

園 名： 社会福祉法人 栄光福祉会 シャローム保育園 地区名： 沖縄地区
名 前： 川満寿美歌（保育士）

「バカ・アホ・クソ・チビ」

《 背 景 》

0歳児から入園した、現在3歳児の男の子A君。3歳児クラスの担任は私一人。0歳児クラスに弟がいる。私とは0歳児の頃から一緒に、とても甘えん坊だが素直に甘えを表現するのが難しい時がある。活発で交友関係も良いがトラブルも多い子どもである。トラックなどの車が好きで、集中して遊んでいるが、私の膝にもよく座りに来る。

現在のクラスでは、おやつ後、子ども達と相談し何のおもちゃを出すか決めている。多数決で多い方を出すが、少なかった方は次の日に出すことを子ども達に伝え、次の日に出すようにしている。

《 エピソード 》

いつもと同じようにおやつ後、子ども達に何のおもちゃを出したいのか聞くと、クラスのほぼ全員が「ブロック」と答えたが、A君は「ちゅうりっぷさんの車が良い」と言っていた。

ブロックの子が多かったので、A君は少し落ち込んだ表情をしていたが、私が「車はまた明日ね」と伝えるとうなずき、友達B君と一緒にブロックで車を作り仲良く遊び始めた。私は少し離れた場所で見守りながら、Cちゃんを膝の上に座らせ一緒にロボットを作っていた。

しばらくすると、B君が嫌そうな表情をして「A君がペロペロする～」と訴えに来た。私は、ええ～?! と思い、A君に「A君、なんでペロペロ舐めてるの～!! B君が嫌ってよ。顔を見てごらん。B君笑ってないけど!」と言うと、A君は笑ってごまかし「B君ごめんね～」と言った。

その後はまた一緒に遊び始めたが、またB君が「またA君が舐める」と私の所に訴えに来た。ふざけすぎだなと私は思い、A君の所に行き「先生さっきなんて言った?」と言った。A君は「わからん」とさっきとは違い私を見ずにムツとしていた。私はA君に「"わからん"じゃない。なんでお友達の事舐めるの? B君笑ってないし、面白くないんだよ!」とさっきよりも強めな口調で伝えた。B君を呼び、気持ちを伝えてもらい、B君が「嫌だったよ」とA君に言った。下を向いて何も言わないA君に対し「何ていうの?」と私が言うと「ごめんね!!!」と怒った口調で謝った。「もう、舐めないでよ」と言うと、B君にされるがままキューと抱きしめられ仲直りをした。A君は、あまりいい表情はしていなかったが、二人はまた作った車で遊び始めた。

他の子のお迎えが来たので対応していると、Cちゃんが泣きながら「A君がロボット壊しよったー」と訴えに来た。さよならをした後にA君の所に行き、「どうしたの?」と聞くと、目をつぶり話そうとしなかった。さっきのB君を舐めたこともあり、私はイラっとしてしまい「人の嫌がる事ばかりして楽しいんだよ。先生もA君が嫌だって事していいの? 車も壊していい?」と言った。するとA君が急に目を開け「バカ・アホ・クソ・チビ!」と私に向かって大声で言って床に横になり、腕で顔をふさぎながら、そのまま何度も「バカ」「アホ」と怒った口調で言った。このままでは話が出来ないと思い、怒って横になっているA君を抱っこし「どうしたの?」と聞いた。膝に座らせるとA君は落ち着き「借りたかった・・・」と話をしてくれ、Cちゃんに「ごめんね。借りたかったよ」と伝え、謝り仲直りをした。

その後は、作った車でもなく、Cちゃんから借りたロボットのかけらでもなく、私の膝の上に座って好きなキューレンジャーの話などをして過ごし、お迎えが来た時には笑顔でさよならをした。

《 考 察 》

A君は普段の生活から注意されることが多く、子ども達が訴えに来るたびに「またA君?!」と思っていたのだと思う。おもちゃを決めた時にA君がしっかりと納得できていないまま、いつもの流れでおもちゃを出してしまい、A君の表情や気持ちを汲み取ることが出来ていないことにも気づかず、少しの声掛けで終わっていた。

また、B君を舐めたことを注意した時、A君が“笑った”ことについて、私は“ごまかしている”と思って対応したが、“笑い”の意味を考えると「自分が悪いことをしたとの自覚がある」からこその表現だったと気づかされた。そのことを理解していたら、A君への声掛けの仕方や関わり方が違っていただろうと思う。

書きながら振り返ると、他の子が膝に座っている時は、特に注意することが多くあったと気付いた。A君が私に甘えたい気持ち、車で遊びたかったのに遊べなかったモヤモヤもあったのかなと気付いた。

さらに、A君が下を向いて何も言わないのは、“もう十分に悪いことをしたのを分かっている”という気持ちの表現なのだと気付くことが出来ていなかった。だから“まだ説教続くか・・・”と、A君は目をつぶることで、自分を消すことにしたのだろう。“悪い”と分かっていることを長々と話され、私の目の前から消えているつもりでいたのにも関わらず、私はさらにA君に対し話をしてしまった。A君は自分の気持ちを分かってくれない私に対し、“ボクのせんせいなんだから” “ボクの気持ちを分かってくれよ!!” “「キライ」を言うぞ〜”というメッセージを込めて「バカ・アホ・クソ・チビ」と言ったのだと気付いた。人一倍甘えん坊だが表現する事が苦手な時も多いので、離れて遊んでいる時でもA君に対し、“先生は見ていますよ”というメッセージを送る事も必要だった。

子ども達一人ひとりとの関わりを大切にしたいという気持ちとは裏腹に、初めての単数担任で自分自身の余裕もなく、A君の気持ちも汲み取ろうとはしていなかったのだと思った。瞬時にA君の気持ちを読み取り、A君にとって最善の対応していく事が大きな課題だと感じている。

聖書：

わたしは、既にそれを得たというわけではなく、既に完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕えようと努めているのです。自分がキリスト・イエスに捕えられているからです。

(フィリピの信徒への手紙・3章12節)

今回のエピソードは、沖縄のシャローム保育園からお届けします。

沖縄地区では、昨年に引き続き2回目の「ミッションステートメント」の研修会を7月に開催されました。“エピソードの研修を”とのご依頼でしたので、その時に書かれ、検討した川満先生のエピソードをご紹介します。

「バカ・アホ・クソ・チビ」は、口に出して良い言葉ではありませんし、言われると腹が立ったり、むかついたりする言葉です。しかし、その言葉の裏側に隠された「気持ち」を捉えなおすと、意外な子どもの気持ちが見えてきます。思い返してみると、これらの言葉は、信頼関係を作りたくない大人に向かって出されることでもあります。瀬戸際に立たされた子どもが、精いっぱいひねり出した言葉の礫、満身の思いを込めた“ラブコール”だと気づくのではないのでしょうか。

(保育研究会 委員 森本宮仁子)

♪海や森、空も清めば、わが心はヤンバルの地に♪」パート5

沖縄県本部町 高垣喜三

ハイサイ。皆さんいかがお過ごしでしょうか。この夏、各地では異常気象で豪雨のための災害など多発しましたが、被害地域の皆様、お見舞い申し上げます。

沖縄は10月までは夏。まだまだ暑く日差しのきつい日々が続いています。

さて、このコーナーではこれまで日米両政府による沖縄への軍事基地の集中的な押し付けとそのことによる県民の安全で安心して生活する権利や人権、民主主義が否定されていることについて歴史や現状に触れながらお伝えをしてきました。今回は、日米両政府が今進めている辺野古の新基地建設や高江でのオスプレイパッド建設がいかに世界的に貴重な自然環境の破壊であるか、世界はそれをどのように注目しているか、その一端を見ましょう。

IUCNは辺野古新基地建設高江ヘリパッド建設に関し4度の勧告・決議

- 2000年（ヨルダン、アンマン会議）
「沖縄島及びその周辺のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナの保全」勧告
- 2004年（タイ、バンコク会議）
「ジュゴン・ノグチゲラ・ヤンバルクイナの保全」勧告
- 2008年（スペイン、バルセロナ会議）
「2010年生物多様性、ジュゴン保護の推進」勧告・決議
- 2015年（ハワイ、ホノルル会議）
「島しょう生態系への外来種の進入経路管理の強化」勧告

これらの勧告・決議は国際自然保護連合（IUCN）の世界自然保護会議で辺野古新基地や高江のオスプレイパッド建設に関して採択されたものです。

IUCNとは、国家、政府機関、NGOで構成される世界最大の環境団体です。国連のオブザーバーで、161の国々から国家・政府機関217、NGO1066、1万6千人の科学者が参加しており、日本からは外務省、環境省と私も参加しているジュゴン保護キャンペーンセンターなど16団体のNGOが参加しています。

ちなみに、日本政府はこれらの勧告・決議の採択には棄権をしたのです。

沖縄はジュゴンの生息する北限であり、個体識別可能な頭数は僅かに3頭と言われており、国の天然記念物に指定され、また絶滅危惧種にもリストアップされています。そのうちの最も若いジュゴンがテリトリーとしているのが大浦湾辺野古沿岸で、まさに辺野古新基地のために埋立ようとしている区域なのです。ジュゴンは哺乳類で祖先は象、そんなに深く長く潜っておられない。したがって沿岸に近いサンゴ礁に生育する海草（ザングサ）を唯一の餌としており、多くの食み跡が観察されているのです。本来ならIUCNから勧告を受けるまでもなく、この地域をジュゴン保護区として政府が保護の先頭に立つべきなのです。ところが、基地建設を優先させ、音に敏感なジュゴンが、「環境アセスメント」やボーリング調査の期間、姿を現さなかったことをもって、（すなわち寄せ付けない作業をしておきながら）影響はないとしているのです。発想が逆転しているのです。

安心して子育てができるサンゴ礁の海を残しておくことが、この生き物を日本から絶滅させない重要な手立てになるのです。

「生物多様性」は地球環境保全の重要なキーワードです。この点でも辺野古・大浦湾周辺の海は特異な地形の特徴により生物多様性のホットスポットとされており、絶滅危惧種262種を含む5800種以上の生物が確認されているのです。これは人類共通の財産として将来世代に引き継いでいくべき世界遺産として登録されている知床や屋久島、小笠原諸島の4千数百種を大きく上回っているのです。また、生息するサンゴの種類は、世界的に有名なオーストラリアのグレートバリアリーフを上回るとされており、ニモで親しまれるクマノミ6種が全て見ることが出来るのです。

さらに、5800種以上の生物のうち約1300種は分類されていない生物であり、新種、固有種である可能性が大きい。政府はこれらを学術的に調査することもなく埋立て、戦争のための基地をつくらうとしています。多くの新種生物や貴重な生物が地球上から永遠に失われようとしているのです。

百聞は一見にしかず、是非一度沖縄大浦湾に来て、グラスボートで自分の目でこの素晴らしい世界を見てください。

米国世論に訴えるジュゴン訴訟

ところで、「ジュゴン裁判」という訴訟があることをご存知でしょうか。これは米国の「国家歴史保存法（NHPA）」による訴訟で、「海外のいかなる文化財も米国は侵してはならない。」を根拠に、沖縄ジュゴンや個人、米環境団体、日本市民団体が原告となり米国防長官、国防総省を相手に「ジュゴンは日本の天然記念物であり、米政府は自らの米軍基地建設に関わり保護する義務がある」と2003年9月に提訴したものです。

一審の中間判決は、米国防総省がジュゴンの保護計画を作成していないことは違法との判断を示していました。しかし、その後、国防総省が日本政府が行った杜撰な「環境アセスメント」を踏襲し「ジュゴンへの影響はない」と結論付けた報告書を提出し、一審の連邦地裁は、外交や防衛問題には司法が介入できないとして実質審理を避け原告の訴えを棄却しました。

しかし、ジュゴンに影響を与えるとして工事の中止を求めた控訴審で、サンフランシスコ連邦高裁は、「原告には訴訟を起こす資格があり、請求は政治的でない」として一審判決を破棄、審理を地裁に差し戻したのです。今後、辺野古新基地建設とジュゴン保護が正面から審議されることになるでしょう。日本と違って、アメリカではまだ司法は独立を保っているのでしょうか。

IUCNは日本政府に勧告・決議の履行を求める

次に「島しょう生態系への外来種の進入経路管理の強化」という勧告は辺野古を埋め立てるために本土や奄美大島など県外から大量の土砂を運び込む計画を念頭に置いています。侵略的外来種の問題は生物多様性に大きな脅威となります。そして環境省は搬出予定地の広島や瀬戸内に侵略的外来種アルゼンチン蟻が広範に繁殖していることを認めており、もし沖縄に侵入すればパイナップルやサトウキビに致命的な打撃を与えることが懸念されているのです。

防衛省・沖縄防衛局は「外来種問題は業者に任せている」と全く無責任な態度に終始しています。外来種が混入する恐れのある土砂1700万㎡を辺野古・大浦湾に運び込むなど絶対に許されることではないのです。

沖縄島北部のやんばるの森は地球上の奇跡の森と言われている生物多様性に富んだ亜熱帯性常緑広葉樹林の深い森です。世界地図を見ると同じ緯度付近は亜熱帯の砂漠がほとんどで、やんばるのような地域は地球上他にはないことが判ります。2011年11月そのやんばる

にある東村高江と国頭村安波で6つのオスプレイパッドの建設を再開したのです。これらの工事とオスプレイの離発着訓練及び米軍北部訓練場の存在は、絶滅危惧種で天然記念物に指定されているヤンバルクイナや特別天然記念物のノグチゲラなどから採餌と繁殖の場を奪い絶滅を促進することになります。

一方、今年、日本政府はこのような現実と米軍演習場が隣接していることに触れず、このやんばるの森の一部を2018年世界自然遺産登録の申請をしました。

本気でやんばるの世界自然遺産登録を求めるなら、政府はこの地域からオスプレイパッドを撤去し、米軍北部訓練場を閉鎖し元の静かな森に返すことを米国に要求すべきでしょう。

冒頭に見た勧告・決議を採択したIUCNがこの秋ユネスコの委託を受けて世界自然遺産登録に係る現地調査のため沖縄にやってきます。

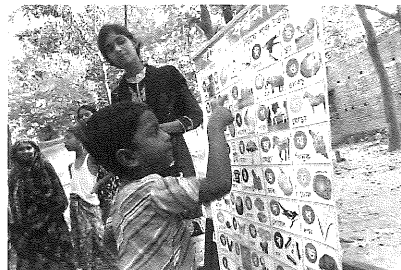
米軍のために自然環境を無視した、まさに地球レベルの自然破壊ともいえる基地建設を強行しようとしている日本政府の蛮行を世界は見逃さないでしょう。世界の笑いものになる前に、日本政府に政策の転換を迫ることが重要です。



「事務局だより」

☆ 第21回バングラデシュの保育を支える会について

6月11日(日)～6月19日(月)、WCBワールドコンサーンバングラデシュ(現地NGO)を訪ね「第21回バングラデシュの保育を支える会」がもたれました。①プレスクールの子どもたちとの交流、②プレスクールの先生方との交流、③ショミティのお母さんたちとの交流、④異文化交流など内容豊かな旅でした。参加者5名。

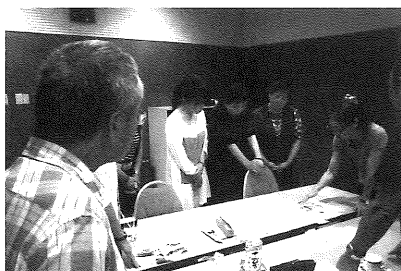


☆ 第59回夏季保育大学について

8月23日(水)～25日(金)、ウィンズ佐世保JRA(佐世保ハウステンボス町)を会場に第59回夏季保育大学がもたれました。参加者は250名でした。詳しくは本文報告をごらんください。第60回は、沖縄で開催されます。

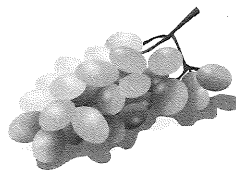
☆ 「保育研究会」について

8月2日メルパルク京都において、第15回保育研究会がもたれました。保育研究会は、「ミッションステートメント」(2015年5月総会承認)を作成し、今「ミッションステートメント」を保育の現場で具体的に用いていただく「めあて」を作成しようと議論を深めています。



☆ 今後の主な予定

- ・ 園長研修会 2017年10月19日～20日、20日～21日
於. 鳴子温泉 鳴子ホテル(宮城県大崎市)
キャピタルホテル1000(岩手県陸前高田市)
- ・ 中堅保育士研修会 2017年11月8日～10日 於. 横浜中央YMCA
- ・ スキルアップ研修会 2018年1月23日～24日 於. コミュニティ嵯峨野
- ・ 理事会 2018年2月13日～14日 於. 神戸



☆ 「山びこ」編集部 ぶどうの木保育園内 〒614-8362 京都府八幡市男山美桜6-5 ☆
(TEL: 075-982-9013 FAX: 075-874-2500) <budounokihokuen@diamond.broba.cc>